



いろいろな自分、未だみぬ自分を発見し 日々の暮らしを豊かにする「あそび」の旅。



特徴① 個々に充実してすごせる「ミックス」な環境

◎多様な環境に出会う

いろいろな場から集まった子どもたちが多様な遊び方や環境に出会うことで、感受性が豊かになり、創造力が養われます。

◎たくさんのスタッフ

スタッフが安全に気も配りながら子どもの活動を促し、ひとりひとりの興味や関心の変化、進捗の様子を丁寧に見守ります。

◎居場所をつくる

場々の中心に立つた作業に集中することで、異質や疑問の壁を乗り越えながら、じっくり自分のペースで取り組むことができます。



特徴② 想像力を引き出す「出会い」と「体験」



◎ゲスト

場に出かけた方、外部の人を出迎いたらすことで、未知の世界と出会う体験が提供します。

◎アートなプログラム

想像力を伸ばす6テーマ、能力的な作業へ興味と関心を持ち、さまざまな角度から子どもの興味を惹きつけるプログラムを開発しています。

◎プログラム紹介

実演を基にしたプログラムの説明も、様々な子どもたちの好奇心を引き出していきます。



特徴③ 「あそび」を見守るしなやかなつながり

◎文藝祭

活動中や卒業後の子どもの様子など、保護者の方との情報・意見交換の機会を設けています。

◎ぐるぐるミックス祭り

開業1年ごとに活動内容や子どもたちの様子を紹介するお祭りを実施いたします。

◎ぐるぐるミックス1st オープンデー

夏休みに、ぐるぐるミックスの卒業生や、保護者の方も参加できる交流イベントを開催しています。



「ぐるぐるミックス1st オープンデー」の様子



① 体験 新しい環境の中で居場所を作る

子どもたちがそれぞれのペースで安心して時間を過ごせる環境づくりに重点をおきます。遊びを通じて自分を表現する楽しさを体験し、個々に得意な活動に没頭していきます。



② 活動 冒険する

物質の世界以外にも慣れてくると、ひとりひとりの興味や得意が現れます。機動的な作業へと導き素材に臨み、新しい発見を喜びながら、未知なる環境への冒険を子どもも大人も一緒に楽しみます。



③ 生活 「ミックス」な状況で楽しむ

ゲームやカードや積み木など、時にはお話しなども、まじり大人をアシストに遊びながらも大人も一緒に遊びます。遊びを通して他者と共有することで、ひとりひとりの個性や創造性が引き出されます。



講師

アーティストを講師として招き、独自の視点から開発したプログラムを実施します。



大西健太郎

(アーティスト/写真家)

1973年生まれ。ダンサー、その場所・状況・空間の魅力を捉え、「ここが面白い」とも思われる空間を「フォーラム」、東京国立近代美術館で展、「真」をテーマにしたデジタル・パフォーマンス制作、必要に応じて、制作活動の発展・発展に向けて制作の高度化によってつくっていきながら参加型パフォーマンスを展開。2011年より子どもたちの活動の発展・発展にアドバイザーを務める。



井川 丹

(デザイナー/美術士)

作家、東京国立近代美術館の作家、コナクリエの代表作品は、日本、海外で展覧された。制作活動の発展・発展に向けて制作の高度化によってつくっていきながら参加型パフォーマンスを展開。2011年より子どもたちの活動の発展・発展にアドバイザーを務める。

※講師のスケジュールは随時変更いたします。

スタッフ

さまざまな年齢・職業の大人が各所 10人程度、子どもたちの活動をサポートするスタッフとして参加しています。子どもたちの活動の活動に寄り添い、安全に注意しながらそれぞれの活動を楽しみます。また、季節ごとのイベントや祭りなどの、アートの専門家を基にした体験などもを通じて、創造力を引き出す喜びの場を提供して参ります。

